

2024年度(令和6年度) 新体力テストの結果

生徒質問紙(第2学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	80.0	20.0	0.0	0.0
女子	47.1	23.5	17.6	11.8

保健体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	85.0	10.0	5.0	0.0
女子	70.6	17.6	0.0	11.8

運動やスポーツをどのくらいしていますか
(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	5.0	45.0	30.0	20.0
女子	41.2	23.5	23.5	11.8

体力・運動能力(第2学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	
男子	27.11	25.19	49.88	52.06	80.79		8.23	207.06	19.00	41.58		女子	24.25	22.87	46.20	48.80	50.33		9.13	178.80	13.47	50.93

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・運動や体育に意欲的な生徒が多いが、否定的なイメージを男子は5%、女子は約29%持つており意欲に男女差が表れている。運動やスポーツに触れ、活動時間を増やすために授業の中で楽しいと思えたり、成功体験を経験できるよう授業を工夫していく。

体力面

・男子の半数の種目、女子は長座体前屈と50m走の記録が平均を下回っている。男女共通して50m走の記録が平均以下であり、要因として運動やスポーツを日常の中に取り入れていないことが考えられる。

2025年度(R7年度)の
重点目標値

・50m走において、男子7.9、女子8.8以下で県平均かつ全国平均以上
・上体起こしにおいて、男子26回、女子23回以上で県平均かつ全国平均以上

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

保健体育の授業で行う取組内容

・授業内に体力向上を目的とした補助運動を充実させ、生徒が意欲的に取り組める内容にする。また、保健体育の授業で一人一人が活躍する場を用意し、運動の楽しさや心地よさを通じて、運動やスポーツのマイナスイメージを改善するような授業内容に取り組む。

保健体育の授業以外で行う取組内容

・放課後や休日の部活動を活性化したり、自宅で簡単にできる運動を紹介したりして、保健体育の授業以外においても運動・スポーツを行えるようにする。また、家庭との連携で、ゲームの時間を減少させることで、生活リズムを安定させ、少しづつでも運動を生活の中に取り入れるように働きかける。